

令和7年度第2回 埼玉県キャラバン・メイト養成研修 カリキュラム

時間	内容	目的	講師・担当
9:10～9:30	受付		
9:30～10:00	I オリエンテーション 1 埼玉県の認知症施策と研修のねらい 2 キャンペーンビデオ	①研修のねらいを理解する。 ②埼玉県のキャラバン・メイト養成事業の位置づけを理解する。	埼玉県福祉部 地域包括ケア課
10:00～12:00	II 認知症サポーターに伝えたいこと ○ 認知症を理解する 認知症とはどういうものか 認知症の症状 中核症状 行動・心理症状とその支援 認知症の診断・治療 認知症予防についての考え方 認知症の人と接するときの心がまえ 認知症介護をしている人の気持ちを理解する	①認知症サポーター養成講座でサポーターに伝える内容について学習する。 ②認知症とはどういう病気なのか、認知症の人や介護をしている人をどう支援したらよいのかを理解する。	里村医院 理事長・院長 里村 元氏
12:00～13:00	昼 食 休 憩		
13:00～13:25	III 認知症サポーター養成講座の運営方法 1 サポーター講座の講義内容例 サポーター講座の内容のポイントを確認しよう	標準教材に準拠した標準的講座用スライドの活用法を説明。	公益社団法人 認知症の人と家族の会 埼玉県支部 代表世話人 花俣 ふみ代 氏 副代表世話人 岩田 知子 氏
13:25～13:45	2 キャラバン・メイトの役割と講座運営の実際 ○ 各地のサポーター講座の様子 ○ サポーターの活動事例	全国各地の講座の模様をスライドで紹介する。(住民、職域、学校) チームオレンジの概要を紹介。	
13:45～16:20	○サポーター養成講座の企画・運営ポイント <u>グループワーク①</u> 講座の展開に協力してもらえそうな機関等はどこだろう …講座の開催先を考える	①認知症の人を地域で支える視点を持つ。 ②認知症の人の助けになる地域の社会資源やネットワークを確認する。 ③キャラバン・メイトの役割を理解し、サポーター養成講座の対象者を検討する。 ④サポーター養成講座を実施する上で協力してもらう機関を洗い出す。 ⑤グループワークの中で、認知症サポーターとしてできることを理解する。	
	<u>グループワーク②</u> 受講者に合わせたカリキュラムを作ってみよう	①サポーター養成講座の運営方法を確認する。 ②サポーター養成講座の企画や講座のポイントについて理解する。 ③サポーター養成講座受講対象者別のカリキュラムを作成する。	
16:20～17:00	IV 事務連絡 キャラバン・メイトの登録について 講座開催の流れ 修了証 授与 アンケート回収	サポーター養成講座開催までの流れを理解する。	埼玉県福祉部 地域包括ケア課